

ごみ処理
広域化

1市2町の基本協定から二宮町脱退 施設設置・国からの交付金への影響問う

議員 平成十八年二月に平塚市、大磯町、二宮町の一市二町でのごみ処理広域化の実施に向けた基本協定書が締結された。しかし、平成十八年九月になって二宮町がこの基本協定からの脱退を突然表明したが、その理由を聞きたい。

助役 平塚市や大磯町は施設の設置には応分の負担をすることが重要であると考えるが、二宮町はごみの発生抑制や資源化を推進することで新たな施設の建設は不要であると考へていた。このように平塚市・大磯町と二宮町での施設設置の役割分担に対する認識に相違があったためである。

議員 二宮町に設置予定であった、可燃ごみを積み替える「中継施設」や生ごみ等を処理する「厨芥類資源化施設」の両施設について、設置に對する考へを伺いたい。

助役 両施設は環境負荷の低減や資源化の推進等の点から重要な施設であると認識しているが、設置場所等の検討が必要のため、現在大磯町と協議を行っている。

議員 本市に設置予定の余熱を利用して発電等を行う「熱回収施設」は、中継施設と厨芥類資源化施設を設置しなくても国からの交付金の対象となるのか伺いたい。

助役 実施計画の内容は変更せざるをえないが、新たな計画を策定するのではなく、これまでの検討内容を基に平塚市と大磯町との一市一町によるごみ処理広域化を進めていきたい。

議員 ごみ処理広域化の実施計画や国からの交付金を受けるとして、神奈川県ごみ処理広域化計画に基づき一市二町の「ごみ処理広域化実施計画」の内容に変更は生じ

るのか伺いたい。



平塚市環境事業センター

設置後20年経過の天城山荘 利用者減少等で伊豆市に無償譲渡へ

利用者減少等で伊豆市に無償譲渡へ

議員 平塚市は昭和五十七年四月に天城湯ヶ島町(現伊豆市)を「平塚市市民休養の郷」として提携した。その後、昭和六十一年四月には「天城山荘」を開設し、平塚市民の観光の拠点として利用してきた。今回、この天城山荘を伊豆市に無償で譲渡すると聞くが、その理由を聞きたい。

議員 今回の移管は財政健全化策の一環であり、天城山荘利用者の減少もその理由だと聞くが、経費の削減はどの程度見込まれるのか伺いたい。

議員 伊豆市に対し、山荘やキャンプ場等の管理委託料として年額一〇八〇万円、また土地の賃貸借料として年額約一〇一万円を支出しており、これら経費の削減が図られる。さらに、天城山荘は設置後二〇年が経過しており、今後、大きな修繕が必要になると想定されるが、移管により施設の修繕費は不要となる。

議員 交流事業・優遇制度の継続の協議は、天城山荘を譲渡した後、本市と伊豆市との交流をどのように考えていくのか伺いたい。

議員 天城山荘を譲渡した後、本市と伊豆市との交流をどのように考えていくのか伺いたい。



ひらつか天城山荘(伊豆市)

平塚市環境基本計画 改訂素案を公表 より効果的に事業推進を図る

「平塚市環境基本計画」の改訂素案が平成十八年十月に公表されたが、従来との変更点を聞きたい。環境部長 これまでは短期展望事業から長期展望事業まで多くの事業を掲げてきたが、より効果的に事業を推進するため、十九年度から二十一年度の三年間で実施する事業に絞って掲げた。

議員 改訂基本計画では事業の進捗管理や課題の検討はどのように行うのか伺いたい。

環境部長 担当課の自己評価に加え、庁内の関係

られているが、今後もこれらの制度は存続するの

か聞きたい。

議員 平塚市が天城山荘を利用する場合には、優先予約や利用料金の割引などの優遇制度が設け

られているが、今後もこれらの制度は存続するの

か聞きたい。

自転車を生かしたまちづくり

行政・市民・事業者の協働が鍵

議員 本市の特徴は、①市街地が平坦であること②市街地の道路など都市基盤の整備が進んでいること③鉄道の駅が市街地に一か所のみであること、等が挙げられる。このようなかから「自転車を生かしたまちづくり」を目指すべきだと考えるが、見解を聞きたい。

議員 自転車を利用したまちづくりを推進していくうえでの課題と取り組みについて伺いたい。

議員 自転車を利用したまちづくりを推進していくうえでの課題と取り組みについて伺いたい。